

# 校報

2017.9  
No. 110



全国高校野球選手権大会静岡大会 準優勝

日本大学三島高等学校・中学校

## ● 校長挨拶



日本大学三島高等学校・中学校  
校長 渡邊 武一郎

### 「わかっちゃいるけど、やめられない」

NHKで「植木等とのぼせもん」というドラマが放映されていたようです。未だ一回も観ていないので、その内容はわかりませんが、皆さんの中には既に何度か観た人がいるかと思います。

植木等氏は昭和を代表する喜劇役者ですが、平成生まれの皆さんには馴染みの無い名前かも知れません。この植木氏が歌い大ヒットした歌謡曲に「スーダラ節」というのがあります。その歌詞に「わかっちゃいるけど、やめられない」という一節が出てきます。些か不謹慎とも言えるこの一節を見て、植木氏は当初歌うのを躊躇したそうですが、植木氏の父で浄土真宗の僧侶でもある植木哲誠氏から、「わかっちゃいるけど、やめられない」は、「人間の本质であり親鸞の教えにも通じる」と、歌うことを励まされたということです。

「わかっちゃいるけど、やめられない」とは、何ともふざけた、無責任な言葉です。ただ、上にあるように、この言葉には人間の本质が顕されているようです。

私たちが毎日生きて行く上で必要なことは、ほぼ全て幼稚園までで教えられています。それは、①正直であらねばいけない事、②嘘をついてはいけない事、③人に優しくすべき事、④人の悪口を言っはいけない事、等々です。皆さんもこの文章を読みながら「分かっている事をくどくど面倒くさいな」と思っているかも知れません。しかし、これら4つの事

を全て守れている人は居ないでしょう。「私はこれまでの人生で一度も嘘をついたことが無い」と言った人が居たら、その言葉こそが嘘でしょう。

親鸞は、「分かっているながら止められない」、「頭では理解しているけど必ずしも行動が伴わない」、という自分を受け入れて、その上で阿弥陀仏に救いを求めることを説きました。私は生徒の皆さんに対して、阿弥陀仏に救いを求める事を勧めている訳ではありませんが、静かに自分自身を見つめ、自身の心の奥底にある想いや理解と、日々の自分の行動を比べては如何でしょうか？

今この文章を書いている私自身も、「分かっているのに、またやっちゃったな」という事の繰り返しです。ただ、理解に行動が伴わなくても、その自分を真摯に受け入れる事は、受け入れない事とは天地ほどの違いがあります。受け入れることは、正しい道を歩み始めるべくスタートした事であり、受け入れないことは、正しい道を理解せずスタートしないこととなります。たとえ行く先は遙か遠くであっても、スタートすれば、いつか必ずゴールに辿り着くことが出来ます。スタートしなければ、永遠にゴールには辿り着けません。

皆さんには、是非とも思い切ってスタートして欲しいと思います。

## ● 新任教員の紹介

### 中学校 近藤 瑠美

担当科目：国語

出身：神奈川県

最終学歴：日本大学 文理学部  
国文学科

### 高校 大槻 真弓

担当科目：国語

出身：群馬県

最終学歴：日本大学 文理学部  
教育学科

### 高校 増田 裕希

担当科目：数学

出身：千葉県

最終学歴：日本大学 理工学部  
数学科

### 高校 萩庭 祐樹

担当科目：英語

出身：神奈川県

最終学歴：日本大学 文理学部  
教育学科

## 新任の先生方に 様々な質問に 答えていただきました！



どんな学生だったの？

どうして教師になったの？

伝えたいことは何ですか？



### ●どんな教員になりたいですか？

生徒の良いところをたくさん見つけて褒めて伸ばせる教員になりたいです。また、生徒と一緒に学校生活を楽しめる教員になりたいです。

### ●学生時代に取り組んだことはなんですか？

ボランティア活動として小学校に行っていました。支援を必要とする生徒と一緒に勉強したり、給食を食べたり、遊んだりしていました。パワフルな小学生と過ごすことは大変でしたがよい経験になりました。

### ●近藤先生の「夢」を教えてください。

卒業生が職員室に遊びに来たとき、楽しくお話をすること。

### ●担当教科へのどういった思いをお持ちですか？

国語は一生学習していく教科であると考えています。大人になっても学び続けることができるよう、今しっかりと基礎を身につけられる授業がしたいです。

### ●生徒に向けてのメッセージ

3年間あつという間に過ぎてしまいます。やってみたいこと、やらなくてはいけないこと、たくさんあります。後悔しないように全力で毎日をご一緒しましょう。そんな皆を応援力になれるように頑張ります。



### ●どんな教員になりたいですか？

20代：生徒の長所を見つけられる先生。30～40代：生徒の将来についてしっかりと適切なアドバイスができる先生。50～60代：どんな状況でも対応できるほぼパーフェクトな先生。

### ●高校生時代に一生懸命にやったことは何ですか？

部活です。朝、昼休み、そして夜遅くまで毎日練習をしていました。そのおかげで精神面、体力面ともに強化されたと思います。今でもその時の先輩に会うと緊張しますが…。

### ●日大三島のイメージは？

一言で表すと「元気」。いつも先生、生徒の笑顔が絶えない学校だなと思います。これも三島という地の自然が生んだ賜物だと思います。

### ●生徒に向けてのメッセージ

「世の中そんなに甘くないから。」とよく言われると思いますが、結構世の中はやり直せることが多いと思います。しかし、やり直すにしても若いうちにいろいろ経験しておかないとやり直す術もなくなってしまいます。今できることをしっかりと。できないことでもやってみる。これが将来の糧になると思います。



### ●どんな教員になりたいですか？

生徒が夢や希望に向かって学校生活を送ることができるようにサポートできる教員になりたいです。

### ●学生時代に一生懸命にやったことは何ですか？

学習塾のアルバイトです。「先生、この問題分かったよ」と生徒の笑顔が見られた時はとても嬉しかったです。

### ●学生時代に影響を受けた本は？

西 加奈子さんの「さくら」です。人間の繊細さ、家族や命の大切さを強く感じました。また、生きるということを強く考えさせられる本でした。是非機会があれば読んでみてください。

### ●大槻先生の考える高校生活の3年間とはどういったものですか？

部活、学習、趣味などに全力で取り組むことができる貴重な3年間だと思います。様々なことにチャレンジして欲しいと思います。

### ●生徒に向けてのメッセージ

出会いを大切に、学校生活を謳歌して下さい。高校時代の友情はかけがえないものになると思います。



### ●どんな教員になりたいですか？

楽しい時も辛い時も、生徒と共に歩んでいける教員になりたいです。この学校でよかった、この先生でよかったと思われたいです。

### ●高校生時代に取り組んだことはなんですか？

部活動(吹奏楽部)です。金管楽器を吹いており、毎日腹筋をしながら肺活量を鍛え仲間と1つの音楽を作り上げる努力をしました。

### ●学生時代に一番苦労したことは？

勉強です。中学校の時より科目数が増え、難易度も格段が上がっていたので苦労しました。皆さんは早め早めに復習や予習をすることをおすすめします。

### ●担当教科へのどういった思いをお持ちですか？

高校数学になり、苦手意識を持つ人がたくさんいると思います。しかし、数学は自分で正解を導いた時の感動が多く得られる科目です。ぜひ問題を見てあきらめずに、積極的に数学を解いてみてください。

### ●生徒に向けてのメッセージ

生徒の皆さんが「この学校でよかった！」と思えるように全力でサポートします。これから一緒に日大三島で成長していきましょう！

## 教 務

## 学びの質を高める取り組み

高校の教育が、明治以来の大きな転換期を迎えていると言われてい  
ます。新しい学習指導要領が平成34年度から実施されるのに先立ち、高校  
教育界はICT教育の推進・アクティブラーニングの実施など、新しい学習  
指導要領に向かって動き出しています。

また、センター試験に変わり、平成32年度からは「大学入学共通テスト」  
が実施されます。ご存じの通り、センター試験では全てマークシート方式の  
試験形式でしたが、「大学入学共通テスト」では国語と数学に記述式問題を  
導入し、英語については4技能(読む・聞く・話す・書く)を適切に評価する  
ため、民間の実施する資格試験も活用します。

高校のみならず大学も大きな改革を迫られ、それらを総称して「高大接続  
改革」と呼んでいます。これらの改革は、20世紀の大量生産・大量消費シ  
ステムといった工業社会から21世紀の「知識基盤社会」、「グローバル化」、  
「高度情報化社会」への変化に対応するものとして位置づけられています。  
知識に偏りがちだった教育を知識の習得だけでなく、思考力・判断力・表現  
力の育成と学びに向かう力・人間性の涵養を通して、何を・どのように学び、  
何ができるようになるかが問われます。

このような教育改革の中、本校はiPadを中心としたICT教育を取り入  
れたり、アクティブラーニングの研修を行ったりと、きたる改革に向けて準  
備を進めています。しかし、それはただ、流行に乗って改革を先取りしてい  
るというわけではありません。そのよ  
うな改革の中で本校の教員たちが大切に  
しているのは、生徒にしっかりと向き合  
い、学びに関心を持たせ知的好奇心を  
涵養することで、生徒の成長をはかる  
ことなのです。「21世紀型スキル」と呼  
ばれるものの土台もここにあります。



## 保健衛生

## 健全な精神は健全な身体に宿る

保健衛生部は、清潔な環境づくりと健康な心身を育成し、有意義な学校  
生活を送る手助けをしています。

保健委員会では、日常の環境美化、救護活動、保健衛生等を心掛け、清掃  
の徹底を図っています。

## 定期健康診断・歯科検診

学校保健法に定められている身体測定、胸部レントゲン撮影、心電図、貧  
血検査等の健康診断、医師による一般検診を実施した上で、異常の早期発  
見、受診勧告を行い、生徒の身体の成長を見守ります。

また、虫歯のない丈夫な歯を保つために、歯科検診を実施しています。

## 生徒相談室

生徒相談室では、臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラーが相談  
に応じています。保健室と連携して高校生・中学生および保護者も含め、  
様々な心の悩みや教育相談に応じ、生徒の健康な発達を支援しています。

自己を見つめ、心豊かな学校生活を送ることができるように、専門家を招  
いての講演会も実施しています。

## 生活指導

## 規律ある学校生活

本校では、公共委員を中心として全校生徒が一丸となり、基本的な生活習  
慣や社会的マナーを身につけることを目指し、週番活動その他に取り組ん  
でいます。生徒数約2,000名の大所帯ですので、組織がしっかりし、目標  
が明確でないと機能しません。

例えば、通学時の安全対策として、三島駅から本校までの通学路の要所  
に週番(生徒・教員)の係が立ち、安全確保に努めています。校門では、お互  
いに大きな声で挨拶を交わす、「あいさつ運動」を行っています。

自転車利用者が1,000名を超えるため、三島警察署の協力を得て「交通  
安全教室」を実施し、交通マナーやルールの指導に力を入れ、事故防止に努  
めています。

「遅刻者根絶運動」を各学期に実施し、遅刻者ゼロを目指して  
います。結果は、全体として良好  
です。今後も継続して行ってい  
きます。

現在、ネットトラブルが社会問  
題になっていますが、本校では、ア  
ディッシュ社の「スクール・ガー  
ディアン」を導入し、サイバーパト  
ロールを行っています。365日・  
24時間体制で、プロによるあらゆる  
サイトの徹底したパトロールによ  
り、定期的に情報が本校に送ら  
れ、生活指導に活用しています。ま  
た、生徒の相談にも対応できる体  
制になっています。



## 図 書

## 本を通して生徒の自主性を育む

## 桜陵祭

6月17日・18日の両日に行われた桜陵祭では、図書委員会は恒例の古本  
市を実施いたしました。毎年多くの生徒・保護者・教職員の方々から古本を提  
供していただいています。今年も2000冊近い善意の古本が集まり、会場と  
なった図書室は常に来客が途切れず大盛況でした。会場にはブックカバーや  
菜の手作りコーナーも併設され、こちらも小さなお子様にも人気でした。4月か  
ら古本市の準備に携わってきた図書委員の頑張りで、今年も大成功となりまし  
た。古本の売り上げ金6万5,840円(別に、手作りシュシュの売り上げが  
7,000円)は、すべて生徒会を通じて熊本城の復興基金として寄付されます。  
古本市に来てくださった生徒・保護者の皆様、有難うございました。

## ビブリオ大会 in Mishima

皆さん、「ビブリオ大会」というイベントをご存知ですか。「本を通して人を知  
る、人を通して本を知る」をキャッチコピーに、「この本面白いから、是非、みんな  
にも読んでほしい!」という単純かつ熱い気持ちをぶつけ合うというシンプル  
なイベントです。新しい読書推奨の形として注目されており、毎年  
1月には全国大会も開かれます。今年の8月4日には本校図書委員会主催で  
「ビブリオバトル in Mishima」が開催されました。本校の高校生・中学生に加  
え、聖隷クリストファー・不二聖心・桐陽・沼津商業・三島北高校などからも選  
りすぐりの本好きな発表者・図書委員が集まり大変盛り上がりしました。本校の  
酒井博紀君(高校1年/紹介本:『帰ってきたヒトラー』)が見事に優勝しまし  
た。大会終了後には桜アリーナ食堂で親睦会も開かれ、生徒同士、学校の垣根  
を超えた交流を深めることができました。

生徒会指導

# 桜陵祭 百輝繚乱～今こそ輝け日大三島！～

例年5月に3日間連続で行われておりました桜陵祭ですが、今年度は5月16日(火)に体育大会、6月17日(土)・18日(日)に文化の部の二部構成にて開催いたしました。また生徒一人ひとりの個性が輝き、主体的に桜陵祭を作り上げる日大三島生徒を表す『百輝繚乱～今こそ輝け日大三島！～』を統一テーマとして行われました。

体育大会では、各学年による白熱した応援のなか、クラス対抗リレーや綱引き・棒引きなどで大いに盛り上がりました。学年対抗リレーでは男女とも熱戦が繰り広げられました。また、中学生のロックゾーンでは見事なパフォーマンスが大会に花を添えてくれました。

文化の部では、各部活動による展示や公演、保護者会による物産展など、老若男女問わず来校者は十分楽しめたことと思います。クラスごとに行われた自由出店などの企画展示では個性が光る創意工夫が見られ、お化け屋敷でも今までにないクオリティーの高いものとなっており、順番待ちの長蛇の列もできていました。今年も、校舎内のほぼすべてのクラス教室が会場となり非常に見ごたえのあるものとなりました。

このように生徒主体の生徒会活動が、年々強化されてきておりますので、今後も生徒会活動に注目してください。



進路指導(高校)

## 平成28年度 進路状況

平成28年度 現役生  
**大学進学者数**

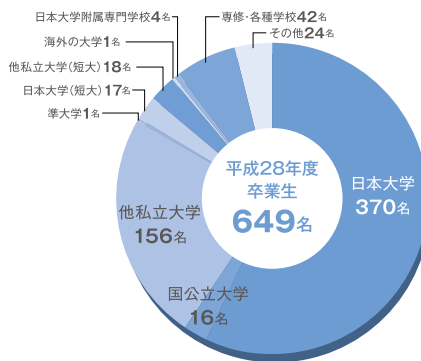
**579名** / 進学率 **89.2%** / **649名**

● 現役生(平成29年3月卒業)

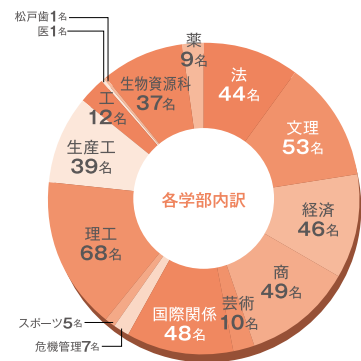
国公立大学	
北海道大学	1
東北大学	1
筑波大学	1
北見工業大学	1
信州大学	1
群馬大学	1
茨城大学	1
横浜国立大学	2
静岡大学	4
会津大学	1
都留文科大学	1
横浜市立大学	1
静岡県立大学	5
名古屋市立大学	1

私立立大学					
日本大学	429	法政大学	10	國學院大学	2
早稲田大学	2	学習院大学	1	明治学院大学	8
慶応大学	1	関西大学	2	東京都市大学	3
上智大学	1	立命館大学	6	東京電機大学	1
国際基督教大学	1	南山大学	1	東京農業大学	4
東京理科大学	8	北里大学	6	東洋大学	11
明治大学	9	芝浦工業大学	4	駒澤大学	3
青山学院大学	1	獨協大学	1	専修大学	1
立教大学	2	成城大学	1	玉川大学	4
中央大学	14	成蹊大学	1	神奈川大学	7
国際医療福祉大学	7	日本女子体育大学	1		
順天堂大学	6	鎌倉女子大学	3		
昭和专业大学	1	白百合女子大学	1		
東京薬科大学	3	共立女子大学	5		
日本女子大学	1	昭和女子大学	3		
東京女子大学	2				
東京女子医科大学	1				
女子栄養大学	1				
フェリス学院大学	1				
大妻女子大学	3				

● 平成28年度 卒業生進路状況(進学者数)



● 平成28年度 日本大学合格状況(短大除く)



他多数

## ● 中学校トピックス

### 宿泊研修(1年生)



4月27日(木)～28日(金)、ラフォーレ修善寺にて1泊2日の宿泊研修を行いました。研修の目的は3点です。

1つ目は、部屋の布団のたたみ方・戻し方、利用した施設の掃除、さらには時間を意識した行動など、集団生活を通して中学校での基本的習慣や団体行動を身につけました。2つ目に、葦山反射炉やジオリアの見学、だるま山や修禅寺の散策を通じて、伊豆の地域について学びました。そして3つ目に、施設での研修、レクリエーションを通じて学年全体で交流し、クラスを越えたコミュニケーションがとれるようになりました。



### 箱根遠足(2・3年生)



4月28日(金)、気持ちの良い青空の下2・3年生の箱根遠足を実施しました。体力向上と2年生・3年生の親睦を深めることを目的に、三嶋大社から箱根関所まで、旧東海道16kmの行程を歩きました。

「こんなに歩きにくい道を昔の人は歩いていたのか」や「この坂はこんなに急だったんだ」など、歩くことならではの発見をする生徒や、きれいに咲くミヤマツツジを見て「頑張って歩いてよかった!」と感動する生徒の感性を見ることができ、遠足の良さを再発見できました。安心、安全で楽しい行事ができるのも、保護者会や大学生など多くの方の準備や協力があってこそ、という感謝の気持ちが少しでも芽生えてもらえればうれしく思います。



### 桜陵祭

体育大会では、中学の伝統になっている「ロックソーラン」を成功させるために、2・3年生を中心に練習に励んできました。少ない練習時間の中で、いかに充実した練習ができるのが課題でしたが、心を一つに動きのそろった演技ができました。

文化の部では、1年生は合唱、2年生は学校案内CM紹介、3年生はディベート対決を行いました。今年もたくさんの方にご来場していただき、笑顔で終えることができました。



### イングリッシュキャンプ(3年生)



7月12日(水)～14日(金)、御殿場時之栖で2泊3日のEnglish Campが行われました。

この行事の目的は、今までの学びで培った英語力が修学旅行でいかに発揮されるよう、英語で自分の意思を伝える実践練習をすることです。

英語しか使ってはいけないというルールを守り、生徒たちはジェスチャーを交えながら自分の気持ちを懸命に伝えていました。最終日には、英語でプレゼン発表をし、English Campの成果を発表できました。

### 臨海学校(1年生)

7月12日(水)～14日(金)の2泊3日で、臨海学校を実施しました。シュノーケリングやカヌーなどマリンスポーツを通じて学年全体でコミュニケーションをしました。何よりも3日間で大きな成長が感じられたことが何点かあります。1点目は、海が苦手と言っていた生徒が最後には海が好きになったと言っていたこと。2点目は、初日は民宿で何も動けなかった生徒が3日目には自分から食事の準備を手伝ったこと。これらことから、生徒自身に意欲があれば、少しの間でこれだけ成長ができるのだと驚かされました。周囲への感謝の気持ち、集団の一員としての行動力や協調性、責任感を身につけ、ルールやマナーを正しく学ぶことができた素晴らしい行事になりました。



### 林間学校(2年生)

8月28日(月)～30日(水)の2泊3日で、林間学校を実施しました。世界遺産・白川郷を散策し、五箇山にある合掌造りの家に宿泊しました。また、江戸時代から現存する唯一の役所である高山陣屋をはじめ、上高地・松本城などを見学し、日本の歴史文化・自然に触れる盛りだくさんの行事となりました。各地での班別自由研修や、カレー作り・マスの掴み取り・五平餅作りといった体験活動を通して互いの友情を深めるとともに、集団生活の中で自分の役割を責任をもって果たすことの大切さを学ぶことができました。



### 教務より



今年度より、中学校では全生徒にiPadを配付し、授業及びHR活動、学校行事等で活用しています。クラス全員の意見を共有し集約するのに利用したり、個人またはグループによるプレゼンテーションの資料作りに役立てたり、また行事の振り返り、そして学校紹介CMを制作・発表したりなど、いろいろな使い方をしました。その度に、これまでに見ることのできなかった生徒たちの新たな一面に触れ、驚かされました。

iPadの使用により、表現の方法が多様になりました。少数の意見も埋もれさせず共有することで、様々な価値観に気づき、視野を広げることにもつながっています。自己表現力を身につけるだけでなく、まわりの意見も受け入れ調整する能力を育むことを目指します。

# ● 高校トピックス

## 宿泊研修(1年生)

4月27日(木)~28日(金)にかけて、第1学年60期生600名が熱海の大野屋で宿泊研修を行いました。

第1学年の全員が一堂に会し、先生方から学習面・生活面についての学校生活全般の説明を受けました。その後、グループに分かれて進路選択や大学生活などの講話を受け、これからの学校生活を送る為の集団意識を培いました。また、研修2日目は各クラスごとに研修を行い、仲間と交流を深めることができました。



## 鎌倉遠足(3年生)

4月28日(金)に鎌倉・江ノ島周辺へ遠足に行きました。各クラスでバスの下車位置を設定し、その後は班別研修となりました。鎌倉大仏前での記念撮影や鶴岡八幡宮での合格祈願にはじまり、小町通りにて雑貨屋巡りや鎌倉名物の食べ歩きなどを満喫しました。江ノ島エリアでは、新江ノ島水族館や、江ノ島へ渡り魚介類を堪能することができました。

班別の行動計画を立てることから当日まで、クラスメイトとの親睦を深めることができ、充実した遠足となりました。



## 夏期講習(3年生)



7月下旬と8月下旬に夏期講習を行いました。9月に、付属生対象の日本大学入試となる基礎学力到達度テストに向けて、長期間の講習となりました。生徒は志望校合格を目指して、精一杯、学習をしていました。講習日以外にも自習ができる環境を作った

ため、講習に関係なく登校して学習している姿が見られました。また講習終了後に、熱心に教員に質問をする姿も見られ、生徒の成長を感じました。3年生全員で志望校合格を勝ち取ってくれるものと信じています。



## フィールドワーク(2年生)

4月28日(金)にフィールドワークとして東京・神奈川近辺の各地で研修を行いました。行き先決定の段階から各クラスで話し合いを進め、当日はクラスごとに浅草・横浜・猿島などそれぞれ異なる場所に出かけるなどこれまでにない試みとなりました。現地では班ごとに分かれて行動し、課せられたミッションをふまえて観光名所や施設を見学しました。また、その成果をもとに各クラスで大判ポスターを作成し、桜陵祭で展示しました。



# 海外語学研修 ~アメリカ・テキサス州~



7月22日(土)~8月16日(水)の26日間、1・2年生の希望者40名が、アメリカ合衆国テキサス州オースティンでの語学研修に参加しました。

午前中は語学学校(Texas Intensive English Program)で英語のみを使って授業を行い、午後はアクティビティとしてグループに分かれ、生徒自身の力で公共交通機関を利用して博物館やショッピングモール、マーケットなどを巡りました。アクティビティでは学校から用意された課題を解決するため現地の人と会話をすることで、日本で学んでいるだけでは経験することのできない貴重な体験をすることができました。

はじめは現地の生活に慣れず戸惑っていた生徒たちも、日々の授業や生活を通して、徐々に語学力や積極性を身につけていきました。特に2週目の週末、ホームステイを終えた後はそれまでの経験を活かしてよりいっそう積極的に会話し、主体的に学びに取り組む姿が見られるようになりました。また、他国からの留学生と交流をしたり、現地の歴史や文化を学んだりしたことによって、英語力だけでなく国際的な感覚を養うことにもなりました。

最後の3日間はロサンゼルスに移動して本場の野球観戦やアミューズメントパークに行き、生徒たちは研修



の締めくくりとして大いにアメリカ文化を楽しみました。研修の中で生まれた新たな友人たちとの絆もより深まったことと思います。

1ヶ月弱という短い期間でしたが、親元を離れ英語に囲まれて暮らすことで、それぞれの精神的な成長や将来の夢に繋がる研修となりました。

## テキサスプログラム 代表生徒 2年 服部 智子(福野東中)

「私たち双子みたい! そう思うでしょ?」出会って間もない私にホストシスターがそう言ってくれました。

生まれ育った場所も文化も習慣も違うのに、自然と心が開けテキサスの人たちの温かさで安心して生活することができました。

毎日、様々な場所に行き、新しいものに出会い、毎日が輝いていました。でも、道も場所も物の使い方も何も知りません。学校の授業だけでなく、そこにおいて生活するだけで英語を使います。何をするにも英語は絶対不可欠で四六時中英語の勉強というわけなのです。うまく思いを伝えられなくて何度も悔しい思いをしました。言葉の意味がわからない、その時よっての表現の仕方や、話のスピードについていけないということが多くありました。寮に帰ってみんなで単語の意味や使い方を調べたり、事前学習をしたりと試行錯誤し、悩んだ末に自分の伝えたいものが伝わった時の達成感には本当に最高でテキサスに来てよかったと心から思うことができました。

この26日間で私の世界は大きく広がりました。今ならなんでもできる、そんな気がします。

この経験を今後の生活に生かし、苦手だった英語の勉強に積極的に取り組んで、またテキサスに、みんなに会いに行きたいと思っています。

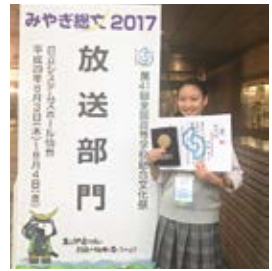


# 部活動記録

## 部活ピックアップ 放送部

7月24日(月)～27日(木)の4日間、第64回NHK杯全国高校放送コンテストが開かれ、アナウンス部門で本校3年の笹川聖太(錦田中)と林田美学(日大三島中)の2名が優良賞(全国4位相当)を獲得しました。全国大会で同じ高校の生徒が同時に入賞するケースは全国でも珍しく、放送部の日々の努力が全国に認められた瞬間でした。

さらに、8月3日(木)～4日(金)に、第41回全国高等学校総合文化祭放送部門が、日立システムズホール仙台で行われ、3年生の林田美学(日大三島中)がアナウンス部門において各ブロック1位に与えられる優秀賞(全国1位相当)を受賞しました。将来アナウンス分野で活躍したいと夢を語る2名の生徒が大きな結果を残しました。



## 高等学校

### 陸上競技

- 静岡県高等学校総合体育大会陸上競技大会  
女子400m 第1位 3年 池谷 真穂(富岡中)
- 第64回東海高等学校総合体育大会陸上競技大会  
男子110mH 第1位 2年 飯塚 魁晟(裾野東中)  
男子1500m 第4位 3年 榎木 雅也(三島北中)  
女子400m 第4位 3年 池谷 真穂(富岡中)  
男子円盤投 第4位 3年 渡邊 智成(錦田中)
- 第50回静岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会  
女子400mH 第1位 1年 石川 小晴(三島北中)  
男子110mH 第1位(大会新) 2年 飯塚 魁晟(裾野東中)

### 水泳

- 平成29年度静岡県高等学校新人水泳競技大会  
女子400m自由形 優勝 1年 佐野 萌華(富士宮第二中)  
女子100mバタフライ 優勝 1年 水野 夏南(北上中)
- 第85回日本高等学校選手権水泳競技大会  
男子50m自由形 出場 3年 渡邊 和生(沼津三中)  
男子100m自由形 出場 2年 北木 義仁(愛鷹中)  
男子200m自由形 出場 2年 北木 義仁(愛鷹中)  
女子200m背泳ぎ 出場 3年 佐野 渚(富士根南中)  
女子800m自由形 出場 2年 柚木 景(富士中)  
男子400mFR 出場  
3年 渡邊和生(沼津三中) 3年 鈴木 滉太(原中)  
2年 北木義仁(愛鷹中) 2年 三田健輔(錦田中)  
男子400mMR 出場  
3年 渡邊和生(沼津三中) 3年 黒沢周(鴨宮中)  
3年 山之内優介(裾野東中) 2年 北木義仁(愛鷹中)  
男子800mFR 出場  
3年 渡邊和生(沼津三中) 3年 鈴木 滉太(原中)  
3年 若月俊輔(富士南中) 2年 北木義仁(愛鷹中)
- 第72回国民体育大会水泳競技大会  
少年男子B200m個人メドレー 出場 1年 鈴木 恒陽(沼津三中)  
少年男子B400mFR 出場 1年 鈴木 恒陽(沼津三中)  
少年男子A800mFR 7位入賞 2年 北木 義仁(愛鷹中)
- 第93回日本選手権水泳競技大会  
OWS競技女子10km 出場 2年 柚木 景(富士中)

### 柔道

- 平成29年度全国高等学校総合体育大会柔道競技  
90kg以下級 出場 3年 重田幸大(裾野東中)  
81kg以下級 出場 3年 鍵山潤(函南中)
- 平成29年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会  
100kg以下級 出場 3年 大橋海斗(錦田中)
- 第64回東海高等学校総合体育大会柔道競技  
男子団体戦 第3位  
3年 大橋海斗(錦田中) 3年 重田幸大(裾野東中) 3年 山本亮太(北上中)  
2年 菊池魁(日大三島中) 2年 依田紘希(日大三島中) 2年 三井政輝(吉原北中)  
90kg以下級 優勝 3年 重田幸大(裾野東中)
- 平成29年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会東海地区予選会  
100kg以下級 優勝 3年 大橋海斗(錦田中)
- 第65回静岡県高等学校総合体育大会柔道競技  
90kg以下級 優勝 3年 重田幸大(裾野東中)  
81kg以下級 優勝 3年 鍵山潤(函南中)
- 平成29年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会静岡県予選会  
100kg以下級 優勝 3年 大橋海斗(錦田中)

### 女子テニス

- 第64回東海高等学校総合体育大会テニス競技  
団体の部 第3位  
3年 梅本佳蓮(御殿場南中) 3年 勝俣碧(裾野東中) 3年 鈴木杏佳(山田中)  
2年 新藤凜(秦野本町中) 2年 遠藤由香莉(文命中) 1年 佐野天音(富士宮第二中)
- 平成29年度全国高等学校総合体育大会テニス競技  
個人の部 出場 3年 梅本佳蓮(御殿場南中)  
3年 勝俣碧(裾野東中)

### 男子テニス

- 平成29年度全国高等学校総合体育大会テニス競技  
個人の部 出場 2年 國島 宇遥(湘光中)  
2年 柘植 幹哉(小平第二中)

### ゴルフ

- 平成29年度静岡県高等学校ゴルフ選手権  
高校男子団体の部 優勝  
2年 伊東流星(伊東南中) 2年 大畑 洸太(中伊豆中)  
2年 小山大翔(玉川中) 1年 田辺虎(日大三島中)

### 卓球

- 平成29年度全国高等学校総合体育大会卓球競技  
ダブルスの部 出場 3年 長田美香(北郷中)  
2年 齊藤結(鴨宮中)  
シングルの部 出場 2年 齊藤結(鴨宮中)

### 放送

- 第64回NHK杯全国高等学校放送コンテスト  
アナウンス部門優良賞(全国4位相当) 3年 笹川聖太(錦田中)  
アナウンス部門優良賞(全国4位相当) 3年 林田美学(日大三島中)
- 第41回全国高等学校総合文化祭みやぎ総文2017 放送部門  
放送アナウンス部門優秀賞(全国1位相当) 3年 林田美学(日大三島中)

### 美術

- 第25回全国高等学校漫画選手権大会本選出場  
3年 及川日菜(田子浦中) 3年 佐野光(長泉中) 3年 杉澤天音(吉原三中)  
3年 関佳奈子(土肥中) 3年 関由樹(御殿場南中)

### 軽音楽

- 第3回静岡県高等学校軽音楽大会  
コピー部門優秀賞(県1位相当)  
3年 大塚良人(富士南中) 3年 野村祐介(秦野西中) 3年 市川遼(函南中)  
3年 後藤龍太郎(韮山中) 3年 白井悠汰(函南中)

### 新聞

- 第41回全国高等学校総合文化祭みやぎ総文2017 新聞部門  
文化連盟賞

\*結果は平成29年度4月1日から9月30日までのもので、紙面の都合により県1位・東海4位以上、全国大会出場決定の大会記録を掲載。

